

平成27年4月8日(水)開講



※写真はイメージです



講義と室礼飾りを実際に作ります

本講座は、講義と室礼飾りを作るワークショップです。室礼飾りは、お持ち帰りいただき、ご自宅でお楽しみください。

日本は南北に長く、四季に恵まれた国です。その季節の節目にお正月、雛飾り、端午の節供等々、年中行事が今日まで千数百年と続いております。室礼は、その行事に込められたこころを、主として室内に道具や植物でしつらい、もてなすことをいいます。本講座では、被いの行事である五節供を、本来の季節に沿った旧暦に合わせて行い、行事の底に流れる人智を超えた自然への畏怖、神、祖先などへの感謝と祈りのこころをあらためて考えていきたいと思います。

行事のこころを形にして日本人のこころを見る

旧暦で楽しむ年中行事と室礼

□講座日時：18時30分～20時30分

第1回	4月8日(水)	上巳の節供	流し雛作り
第2回	6月10日(水)	端午の節供	薬玉作り
第3回	8月12日(水)	七夕の節供	笹飾り作り
第4回	10月14日(水)	重陽の節供	菊玉作り
第5回	12月9日(水)	冬至の節供	冬至の盛り物作り
第6回	2月10日(水)	人日の節供	七草の寄せ植え作り

□講師：室礼研究家 高橋久子・ゆずり葉の会

□講座料金：裏面をご覧ください (税・材料費込み)

□会場：一般財団法人 日本文化興隆財団会議室

□募集人数：各30人

□申込方法：裏面をご覧ください、インターネット及びファックスにてお申し込み下さい。インターネットではクレジットカード、コンビニ支払い、銀行振込、郵便振込が可能です。ファックスでお申し込みいただいた方には、郵便払込用紙をお送りします。いずれもご入金確認後、本申し込みとなりますのでご了承ください。



JR総武・中央線・地下鉄大江戸線々々木駅西口より徒歩5分
地下鉄副都心線北参道駅1番出口より徒歩1分
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10
電話 03-5775-1145・FAX03-3475-5805

旧暦で楽しむ年中行事と室礼

行事のこころを形にして日本人のこころを見る



第1回 4月8日(水)
じょうし 上巳の節供 旧暦3月3日 新暦4月21日
 申込締切日 4月1日 講座料 3,500円

三月上旬の巳の日に人々が野や川に出て、身の穢れを祓う中国渡来の「上巳の節供」と、日本古来の人形(ひとがた)信仰にもとづく祓えの行事が結びつき、さらに平安貴族の子供のひいな遊び(人形遊び)が融合して雛祭りとなりました。元々は祓えの行事です。

室礼 流し雛作り

あらたに水の流れを作り、ひとがたのお雛様を作って「流し雛の室礼」を作ります。



第2回 6月10日(水)
端午の節供 旧暦5月5日 新暦6月20日
 申込締切日 6月3日 講座料 3,500円

端午とは「月の始めの午の日」で、やがて5月5日の節供に。男の子の節供になったのは、厄祓いの「菖蒲」が「尚武」に繋がる事から。田植え前の早乙女が禊ぎをする女の節供でもありました。

室礼 薬玉作り

厄を祓う植物の菖蒲と蓬と五色の紐で「薬玉作り」をして、重陽の節供まで飾ります。



第3回 8月12日(水)
七夕の節供 旧暦7月7日 新暦8月20日
 申込締切日 8月5日 講座料 4,000円

お盆前の祓えの日です。日本古来の「棚機」(たなばた)信仰(乙女が布を機織りして神を迎え、人びとの穢れを持ち去ってもらう神事)と中国古来の技芸の上達を願う「乞巧奠」(きっこうでん)と牽牛、織姫が天の川で出会う「星祭り」とが習合したもの。または収穫祭でもあります。

室礼 笹飾り作り

七夕人形や短冊、梶の葉を作り、糸柱に「笹飾り」をします。



第4回 10月14日(水)
ちょうよう 重陽の節供 旧暦9月9日 新暦10月21日
 申込締切日 10月7日 講座料 3,500円

9月9日は「菊の節供」ともいう。中国では奇数を陽数といい、陽数が二つ重なる日はよくないことが起こるといふ重日思想の厄除けの日です。菊と菊酒で厄を祓って長寿を願いました。民間では9日、19日、29日をおくち祭として収穫を感謝する「刈り上げ節供」の日でもあります。

室礼 菊玉作り

菊の節供に因んで、昔から伝わる「菊玉作り」をして飾ります。



第5回 12月9日(水)
冬至の節供 旧暦11月12日 新暦12月22日
 申込締切日 12月2日 講座料 3,500円

冬至は一年で最も日照時間が短く、翌日から翌一日ずつ日が延びるといわれ、一陽来復として祝います。古代では暦の起点とされ、年の初めの冬至正月の暦も作られました。厄除けの小豆粥を食べて身を祓い清め、栄養豊富な南瓜、砂出しといわれる蒟蒻を食べ、ゆず湯に入り無病息災を祈ります。

室礼 冬至の盛り物作り

冬至に因んで、柚子や南瓜、小豆などで「冬至の室礼」をします。



平成28年
 第6回 2月10日(水)
じんじつ 人日の節供 旧暦1月7日 新暦2月14日
 申込締切日 2月3日 講座料 4,000円

正月七日は「人日の節供」といい、人を大切にするといいわれています。日本では、七草粥を食べて邪気を祓って新年を迎える行事です。「七草なずな、唐土の鳥が…」とはやし歌を歌って七種叩きをし、豊作と平穏を願って、鳥追いをする予祝行事でもあります。

室礼 七草の寄せ植え作り

せり、なずな、ごきょう、はこべら、仏の座、すずな、すずしろの七草の寄せ植えをして春の植物のエネルギーをいただきます。



※写真は全てイメージです。室礼飾りの内容が変わる場合があります予めご了承ください。

インターネット又はファックスでお申し込み下さい。インターネットではクレジットカード、コンビニ支払い、銀行振込、郵便振込が選択できます。ファックスでお申し込みいただいた方には、郵便払込用紙をお送りしますので指定期日までにお支払いください。

ホームページで受付中
<http://www.nihonbunka.or.jp>

日本のこころ 検索

FAX 03-3475-5805

郵便番号	住所	氏名
電話	FAX	メールアドレス
旧暦で楽しむ年中行事と室礼		第1回・第2回・第3回 第4回・第5回・第6回
を受講します		希望講座を○でお囲みください。

※受講票はご入金確認後にお送りしますので当日持参してください。※満席の場合はご容赦ください。
 ※当日の持ち物は受講票に記載します。